

# 父母の会ニュース

神戸市重度心身障害児(者)父母の会

第209号

発行: 令和5年7月1日

責任者: 武田 純子

TEL: 078-335-8508

FAX: 078-335-8509

URL: kobe-jyushin.com

E-mail: hubonokai6530

@iaa.itkeeper.ne.jp

\*\*\*対面は大切！\*\*\*

神戸市重度心身障害児(者)父母の会  
会長 武田 純子

新型コロナウイルス禍が3年目に入り、5類に移行されたとは言え、決して感染者が減少したわけではなく、社会生活に支障がないように共存することを学ぶ3年でもありました。この間、急激な社会の変化もあり、人とひとが対面する機会が減り、ウェブ活用の時代がいよいよ日常的になくはならないものとなっています。

今年度の総会も昨年に続き対面で開催しました所、来賓10名を併せて35名の参加で令和4年度の報告は会員の賛同をいただき滞りなく終了しました事をご報告します。

その中で当会が立ち上げました「NPO法人じゅうしん神戸」が運営する「じゅうしん須磨寺」はこの4月1日から1年間休業となる報告をいたしました。理由は職員の体制が整わず急遽、休業せざるを得ない状況になりました事では利用者、保護者はじめ関係の方々には多大なご心配と不安を抱かせてしまいました事に心よりお詫びを申し上げます。神戸市に休業届を提出、緊急の保護者会を開催、利用者の受け入れ先の手配等3月末までに何とか終える事ができました。現在準備委員会を設置し職員体制を整えられるよう、そして再開に向けて努力しております。

又、当会は神戸市より委託を受けて、『リフト付き福祉バス「おおぞら号」』の運行事業を行っております。この度、運転士派遣の要件が変わり、従来に比べ大幅に運転士の人件費が高騰した為、利用料を一部見直すことのご協力を各団体、事業所、支援学校等に依頼しました。その後、神戸市と相談し、再三の協議の結果『リフト付き福祉バス「おおぞら号」』は障害児(者)にとって社会参加には、なくてはならない事業との理解が得られ、補助金増の検討をしていただくことになりました。

併せて今年度、新型コロナウイルス禍で中止になっておりました「愛のチャリティバザー」を、徐々に再開する準備をすすめております。バザー会場は、兵庫区役所が新庁舎に移転し、その庁内の2階に併設された「みなとがわホール」で開催いたします。思えば去る令和2年3月3日、「愛のチャリティバザー」の開催を目前にした2月25日、新型コロナ感染情報が発令され、急遽中止の通知を出した記憶がよみがえりました。今年度は令和6年3月3日(日)に開催予定しておりますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。

世の中の様々な変化で価値観が変わり、社会の仕組みも変化する時代ですが、重症児に寄せる温かい気持ちだけは、今までとおおり対面して直接触れる距離感が必要と感じます。皆さまのますますのご理解とご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

## \*\*\*令和5年度総会特集\*\*\*

5月26日(金)午前10時30分から、神戸市立総合福祉センター4階会議室において第57回神戸市重度心身障害児(者)父母の会総会が開催されました。会員出席者25名、委任状90通で、会則規定により、議事は成立し、議案書の内容が承認されました。来賓として福祉局 奥谷副局長からご挨拶いただきました。

### 奥谷副局長挨拶より

2020年から始まった、新型コロナウイルス感染症ですが、この5月8日を持ちまして、感染法上の取り扱いが5類ということに変わりました。完全に感染は無くなりませんが、少しずつ気をつけながら、今後も従来の生活に戻っていただけることを期待しております。

父母の会の皆様には、おおぞら号の運行とか、いこいの家の運営とかで、障害者の方、とりわけ重度の方の社会参加の取り組みに熱心に行っていること、それは非常に神戸市としても心強いですし、可能な範囲で支援も考えております。

神戸市も、障害者の方、重度の方も地域で安心して生活し続けていくための取り組みは必要と考えており、例えば相談支援の機能の強化に取り組んでおり、また、住み続けられるように、例えば、グループホームなどの住居の整備も取り組んでいます。

また障害福祉サービスを安定して提供できるような体制作りも大事ですが、やはり介護人材の確保とか、報酬面とか、個別だけでは解決できないことも多く、そういったところにつきましては、国とか、県にも要望しながら、神戸市としてできることを、少しずつ取り組んでまいります。

さらには、医療的ケア児、医療的ケアの方も、在宅で生活できるような環境が整ってきている中、どうやって福祉的な支援ができるか、福祉だけではなく、他にも色々な面もあり、そういった課題は次々出てくるので、一気に全てが解決することは、なかなか難しいですが、できることから一つずつ、皆様方のご意見であるとか、ご提案を聞きながら、福祉局だけではなく、こども家庭局、健康局、その他部局、区役所も含め、連携しながら、できることから取り組んでまいりたいと思いますので、引き続きご協力・ご理解ください。

また、今年は、障害福祉の方では、来年度から障害福祉計画、神戸市障害福祉計画と神戸市障害児福祉計画の時期で、6年度から始まりますので、その策定計画策定年となっております。

これについては、じゅうしん父母の会の皆様方の率直なご意見をお聞きしたいと思いますので、改めてご協力をお願いいたします。神戸市としましても、障害者の方が、安心して生活し続けられる地域をどうやって作っていくかが大切な課題であり、一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

(要旨のみ 文責：新川)



## \*\*\*ポニー教室\*\*\*

担当 時本清子

ポニー教室は令和6年度に50周年を迎えます。

現在は西部地区では「青陽須磨支援学校」、東部地区では、「灘さくら支援学校」のご協力で、訓練会場を提供いただき開催しております。

2月14日の実行委員会は、1年の振り返りの中で物品の搬入方法、記録、受付、参加者の確保、当番等、支援学校との共有事項を話し合いました。

4月1日支援学校のポニー教室担当の先生方と合同の運営委員会を開催して今年度の開催予定日を下記のように決めました。

気象情報によっては急な変更もあろうかと思いますのでご協力をお願い申し上げます。

### 令和5年度ポニー教室開催日程（案）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東部 (灘さくら)	/	3日	1日	/	2日	7日	4日	2日	/	3日	2日
西部 (須磨支援)	20日	17日	15日	/	16日	21日	/	/	20日	17日	16日

## \*\*\*じゅうしんマルシェ\*\*\*

担当 山内 由香

4月18日(火)に中部いこいの家にて、今年度最初のマルシェを開催しました。商品も秋冬ものから春夏ものにチェンジするために商品を選ぶ時間がかかりました。友生支援学校から生徒の作品の提供、こぐまクラブから出店などもありました。寄贈して下さった方々、販売担当の会員のお陰でたくさん売れました。コロナ禍で中止していた『愛のチャリティバザー』は

\*\*\*\*\*

### ○ コロナ禍で中止していた『愛のチャリティバザー』を再開します

\*日 時： 令和6年3月3日(日)

\*場 所： 兵庫区役所2階 みなとがわホール

兵庫区荒田町1丁目2 1-1 に於いて開催

皆様からのご寄贈とお越しをお待ちしております。

# ごちゃまぜフェスタ

2023年3月18日(土)

じゅうしんきっず&ゆうす 井関宏美

神戸市北区しあわせの村内野外活動センターあおぞらにて「ごちゃまぜフェスタ」を開催しました。

今回はきょうだい児支援の会 LOVE クローバーさんとの共催でたくさんの方にご参加、来場いただき「たべる・あそぶ・くらす」障がいがあってもなくても、きょうだいも、みんな一緒に楽しい時間をすごそうよをテーマに昨年に続き、2回目の開催を無事に終わられたことをご協力いただきました皆様へ御礼を申し上げます。

今回はいろんな事情により日頃本物の星空を見づらい子ども達に星空を届けたいとして活動されている一般社団法人星つむぎの村様より7mエアドームと投影機器をお借りして車椅子に乗ったまま、バギーに乗ったまま、床の上でゴロンと横になったり思い思いの姿勢でプラネタリウムを体験したり、紙飛行機のワークショップ、日頃の食事づくりにあると便利な機器の展示、医療的ケアが必要な人のかわいいグッズ展示、喀痰吸引・栄養注入



エアドーム

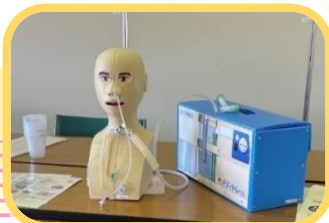
シミュレータ「メディトレくん」の展示に加えて親に向けた研修の場として、日頃誰に相談したらいいのかわからなかった親なき後の「お金、子どもの生活」について、学ぶ時間や障害がある子の「きょうだい」に対し長年きょうだい児支援をされている講師の方から「きょうだい」が抱えている気持ちなど貴重な講演をしていただきました。

ご参加いただいた皆様と一緒に「知る、学ぶ」場を設けることができたのではないかと思います。

さらに写真家の山本美里さんをお招きして、医療的ケアが必要なご自身のお子さんの学校付き添いについての日常を写真を用いて表現されている世界観を会場に訪れた皆様に観ていただきました。

日頃、重度の障害を抱えて地域で暮らす在宅生活を過ごす障害児(者)や家族、支援者にとって貴重な「はじめまして」で、いろんなヒト、モノ、コトを身近な場所経験する事ができる貴重な場となったと参加いただいた方からの感想をいただきました。

このような場の必要性を感じこれからも継続しての開催を検討していきたいと思えます。



# 「たるみっこまつり」にバザーを出店

2023年5月27日(土)

垂水支部 中新井 兵吾

4年ぶりに開催された「神戸まつり」の垂水区中央行事として『たるみっこまつり 2023』が、去る5月27日(土)に県立舞子公園で開催されました。これに父母の会垂水支部はバザーを出店して参加しました。当日は天候に恵まれ、ステージではいろいろな演技が披露され、「おまつり市」には福祉団体など約40団体が出店しました。バザー、焼きそば、などの店で賑わい、射的、かき氷の店は長蛇の列を作っていました。

父母の会のバザーにも多くの人々が来られ、掘り出し物を探しているお客さんの姿が久しぶりに見られました。また子供さんが可愛いぬいぐるみを見つけて喜んでる姿にはうれしくなりました。



## 神戸市情報

【神戸市公式LINEアカウントで“楽しくて、ためになる”  
神戸の情報をお届けします！】

LINEを家族や友達と使っている会員のみなさんへ  
神戸市公式LINEアカウントをご存じですか？市政情報(私たちにとっても大事な情報はもちろん)だけでなく、パン屋の裏話のようなちょっとディープな神戸の魅力まで教えてくれるそうです。

ホームページよりも気軽に調べられます。友達登録してみませんか？

友達登録はこちらから⇒ <https://lin.ee/3TT6shh>



# はじめまして

## 灘支部

灘支部 藤田雅子

今年度から支部長になりました藤田雅子です。家族は今年25歳になる車いすの息子と、大学4年生の娘、夫と姑さんの5人です。灘支部では今まで役員をしてくださった方たちにも支えていただきながら、新しいメンバーが三役となり、今年度は10家族でスタートです。障がいのある本人の年齢は、上は60代から下は10代まで。歩いておしゃべりを楽しめる人もいれば、医療的ケアを必要とする方もいます。障がいの状態も様々。活動には、親子で参加、ご本人だけ参加、ご兄弟や親ごさんだけ参加も。みなさんそれぞれの関わり方で父母の会を楽しんでいます。

今年度の活動は、

- ①毎月「古武道体操術」・介護する人もされる人も体をほぐして動きやすい体づくりを目指す。会員外の方OK。父母の会への入り口としたい。
- ②親子体操やクリスマス会、食事会などで、会員同士の交流をする。
- ③グループラインを中心に、灘区の地域情報交換、福祉制度情報、悩み相談などの交流。
- ④灘区自立支援協議会「きらく共生部会」に参加。主に防災について情報交換。
- ⑤障がいのあるご本人の誕生祝や、季節の贈り物などで、活動に参加しにくい会員ともつながりを持つ。



クリスマス会



古武道体操で足をすりすり

## 東灘支部

支部長 新川由美子

今年度の支部総会は4月27日、区の保健福祉部3名を迎えて支部総会を開催しました。

感染対策が必要な時期ではありましたが、対面で新会員も加わったうれしい総会でした。終了後の恒例の懇親会は控え、自己紹介だけでしたが、情報共有が出来て有意義な会となりました。

4年ぶりの住吉中学校野球部OB会による運動会を住吉中学校のグラウンドをお借りして5月に開催できました。区役所、地域の民生・児童委員、野球部、吹奏楽部、放送部の中学生の協力もあり、パン食い競争、玉入れ、綱引き、大玉転がしの他、OB会手作りのカレーライス、焼きそばをいただいた楽しいひと時となりました。また、6月3日梅雨入りの合間、魚崎西町児童公園でミニバザーも実施し支部行事も戻りつつあります。



# 新支部長

## 西支部

西支部 由良典子

今年度より支部長になりました由良と申します。

子どもが人工呼吸器装着で私が動きにくい為、今年度より副支部長の役割も出来、昨年度までの支部長さんに教えていただきながら三役で進めています。

じゅうしんの拠点である「いこいの家」は西支部から遠いので定期的な活動はしにくいものの、親睦会やバスレクなどを通じて想いや悩み、情報を共有し、交流を深めていきたいと思ひます。

今年度は、西支部会則を見直しました。親睦会をイタリアンレストランで行います。バスレクも計画しています。年代様々ですので、なかなか活動に参加しにくい会員さんにも西支部情報を伝えていけるよう「西支部だより」を不定期に発行します。また LINE グループも活用して私たちに關わる情報を伝えていきたいと思ひます。

障がいある子どもたちを最優先にし、役員も無理なく楽しく、みなさんの声を聴きながら繋がっていったらと思ひます。よろしくお願ひします。



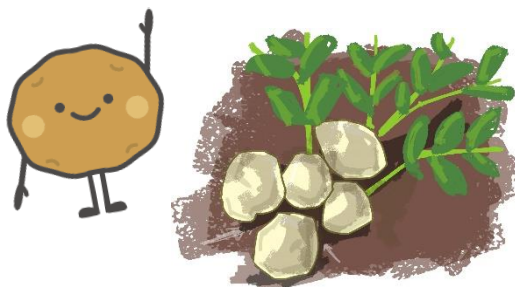
## 須磨支部

支部長 山内 由香

知人が畑を耕し、たくさんの野菜を育てています。

車椅子の人でも野菜の収穫ができると昨年より聞いていたので、まだかまだかと待っていました。ご招待の連絡をいただき、5/27(土)押部谷へじゃがいも掘りに行ってきました。

事業所では、プランターでじゃがいも他を育てていますが、直接土を踏んで収穫ができ、良い体験をしました。2種類のじゃがいもと赤い玉ねぎを収穫しました。秋にはさつまいも掘りに行けるのを楽しみにしています。



## ◇◇◇お知らせ◇◇◇

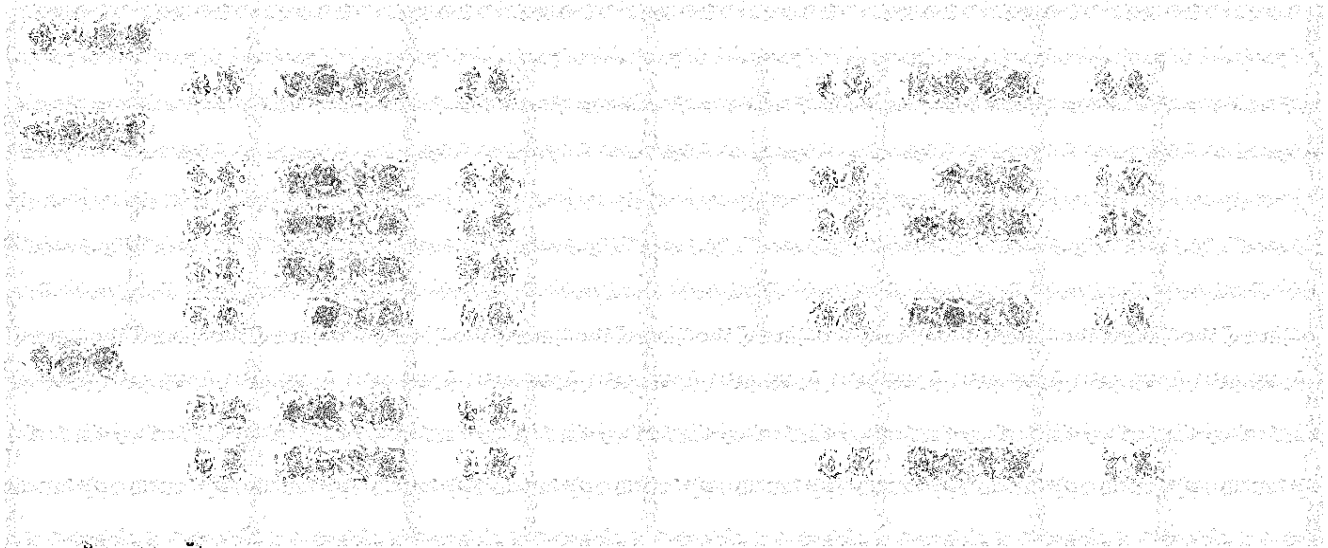
- ・リフト付き福祉バス『おおぞら号』は令和5年1月から新しい3人の運転手が交代で運転しています。

### [神戸市異動情報]

(4月1日付)神戸市福祉局 副局長 奥谷由貴子(障害者支援課長から昇格)

(4月1日付)神戸市福祉局 障害支援課長 黒田尚宏(奥谷氏後任)

## ◇◇◇会員の動き◇◇◇



### 【お願い】

※書き損じの官製はがきを「じゅうしん父母の会」へ提供してください。

※父母の会事務所(いこいの家)の開所時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為  
9:30~16:00としています。

お電話によるご連絡又はご来所については、  
できる限り『10:00~16:00』の間をお願いします。

### 編集後記

「福祉3プラン」という言葉をご存じですか？ 高齢者福祉の「ゴールドプラン」、少子化対策の「エンゼルプラン」、障害者福祉充実の「障害者プラン」。どれも1990年代に策定されて、これまでに法改定が何度もされてきたようです。

障害者福祉は、障がいがあるとわかった時から一生において私たちの生活に深く関わってくる制度です。だからこそ、「障害者プラン」は当事者の声を反映させたものでないといけません。「私たち抜きに私たちのことを決めないで」。その声を集めて行政に要望を届けていくのも障害者団体の大事な役割と言えると思います。

障害児者制度が整ってきたように思えてもまだまだで、またそれは国や自治体の財政状況によっても変わってきます。常に危機感を持って、私たちも連携していかねばならないように思います。

N.Y